

平成30年(2018年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
2月	<p>「森林フォーラムin佐久」を開催 【佐久地域振興局(林務課)】</p> <p>成熟期を迎えた佐久地域のカラマツの将来を考え、ブランド力の強化や林業の再生による地域の活性化を図る目的で2月27日に佐久穂町生涯学習館「花の里・茂来館」で開催しました。 基調講演やパネルディスカッションなどに、約200名の参加をいただき、信州カラマツの故郷から林業再生の提案をすることができました。</p> 
3月	<p>中部横断自動車道へのアクセス道路の供用開始 【佐久建設事務所】</p> <p>中部横断自動車道 佐久臼田ICへのアクセス道路として平成25年度から整備を進めてまいりました県道上小田切臼田停車場線 佐久市 下小田切バイパス(延長約1.3km)が完成し、3月18日に開通式が「県道上小田切臼田停車場線整備推進協議会」主催のもと盛大に開催され、翌19日午前6時より、中部横断自動車道の開通(4月28日)に先立ち供用を開始しました。 これにより佐久臼田ICへのアクセス強化はもとより、車両のバイパス通行により、幅員が狭い旧道の危険が軽減され、数年後に予定されている工業団地や統合小学校への通勤・通学の安全確保と交通の円滑化に寄与することが期待されます。</p> 
3月	<p>浅間山火山ハザードマップが作成される 【佐久地域振興局(総務管理課)】</p> <p>3月23日に群馬県長野原町で浅間山火山防災協議会が開催されました。活動火山対策特別措置法に基づく法定協議会として第5回の開催となったこの協議会では、浅間山大規模噴火の被害想定を示すハザードマップが承認されました。 協議会では、今後、ハザードマップをもとに住民へ配付する市町村防災マップの作成を進めるとともに、並行して避難計画等の検討を進めます。</p> 
4月 ～ 12月	<p>しあわせ信州創造プラン2.0佐久地域計画がスタート 【佐久地域振興局(企画振興課)】</p> <p>2018年度から5年間の県づくりの方向性を示した、しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～(長野県総合5か年計画)佐久地域計画がスタートしました。 4月以降、佐久地域計画の推進にあたり、関係機関・県民の皆様にご理解をいただくため、様々な機会を通じて佐久地域計画をご説明するとともに、関係機関・県民の皆様にご協力をいただき、佐久地域計画に掲げている5つの重点政策を進めてまいりました。</p> <p>【重点政策】①健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり ②美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり ③地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求 ④浅間山の防災体制の強化及び活用 ⑤新たな交流・物流に向けた中部横断自動車道の整備促進</p> <p>来年以降も引き続き、佐久地域計画の実現に向け、佐久の健康長寿や多様な産業等の特長(魅力)を活かすとともに、地域外との交流を拡げ、住んでよし、訪れてよし、の地域をめざしてまいります。</p> 

月	内 容
7月	<p>白樺湖ジョギングロードが完成 【佐久建設事務所】</p> <p>「白樺湖」を活かした戦略的まちづくりの一環として、「健康」・「運動」という観光コンセプトのもとで、茅野市及び立科町とともに整備を進めていた白樺湖を一周するジョギングロード(全体L=3.8km)が完成しました。 これにより白樺湖を安全で快適に楽しむことができる環境が整備されるとともに、準高地スポーツエリアとしての誘客に貢献し、地域の活性化を目指します。</p> 
8月	<p>県立武道館の建設工事が始まる 【教育委員会スポーツ課】</p> <p>県立武道館建設工事の起工式が、2018年8月21日に建設地である佐久市猿久保で執り行われ、2020年3月の供用開始に向け工事が始まりました。 県立武道館は、①長野県の武道振興の中核となる施設 ②多目的に利用できる「選ばれる施設」 ③環境・景観に配慮した長野県らしい施設という特色を持ち、礼節を尊重するなど心技体を一体として修練する日本固有の伝統文化である武道を次世代へ継承していくことを目指します。</p> 
8月 ～	<p>浅間山の噴火警戒レベルが引下げられ、前掛山まで登頂可能に 【佐久地域振興局(総務管理課・商工観光課)】</p> <p>8月30日、気象庁は浅間山の噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引き下げました。 浅間山の噴火警戒レベルは、平成27年6月にレベル2に上げられましたが、今回レベルが引き下げられたことにより、登山口がある小諸市は立入規制を火口の約2キロ以内から約500m以内に緩和しました。これにより前掛山まで登頂することが可能になり、紅葉の季節を中心に、連日多くの登山者でにぎわいました。 また、佐久地域振興局は小諸市等と連携し、浅間山の二つの登山口を結ぶ周遊登山を推進するため、(一社)こもろ観光局が運行する浅間山周遊バスの利用を促すとともに、9月8日～9日には県外在住者を対象とした一泊二日のモニターツアーを開催しました。 行楽時期には登山口で山岳遭難防止啓発活動を行い、浅間山が活火山であることを認識しながら安全に楽しんでいただけるよう、登山者へ登山計画書の提出を呼び掛けました。</p> 
9月	<p>佐久プルーンフェスティバル等でプルーンをPR 【佐久地域振興局(農政課)・佐久農業改良普及センター】</p> <p>佐久市と連携して「佐久プルーンフェスティバル」を9月17日にヘルシーテラス佐久南において開催し、6千名以上の来場者が佐久地域のプルーンに親しみました。サンプル種飛ばしグランプリ、プルーンクイズ、プルーンすくい等多くのイベントを行いました。 また、9月24日はぴんころウォークでプルーンの食べ放題を実施するなど、佐久地域にプルーンあり、と広くPRすることができました。さらに、プルーンの品質を競うサンプルコンクール及びオータムキュートコンクールを実施し、夏期の高温で栽培に苦慮したなかで高品質プルーンが出品されました。佐久プルーンが知られてきたのか、今年初めてプルーンの購入先の問い合わせが10件近くありました。</p> 

月	内 容
9月 ～	<p>プレメディカルケア産業開発支援プロジェクトがスタート！ 【佐久地域振興局(商工観光課)】</p> <p>病気の予防や健康づくりが伝統的に盛んな佐久地域では、従来の検査や治療を行うメディカルケアの前段階であるプレメディカルケア(病気の予防、早期発見、健康増進)に関する産業を創出しやすい環境にあり、すでに複数の製品・サービスが生まれています。この動きをさらに促進し、プレメディカルケア産業の集積形成に取り組むため、今年設立された(一社)佐久産業支援センターと連携して、プレメディカルケア産業開発支援プロジェクトをスタートしました。</p> <p>このプロジェクトでは、専門家である工業デザイナーが講師を務め、地域の企業、大学、医療・福祉機関、県外の販社・メーカーが参加し、それぞれ違う背景を持った者同士が、発表したり、小グループを作ってワークショップを行うことで、新しいビジネスのアイデアを生む発想の場を作っています。</p> 
10月	<p>「2018環境フェアin佐久」を開催 【佐久地域振興局(環境課)】</p> <p>10月6日、家畜改良センター長野支場ふれあい広場において、環境保全に関する取組を紹介し、環境について学び、体験できる環境イベントを豊かな環境づくり佐久地域会議と県の主催により開催しました。</p> <p>地球温暖化防止や家庭における省エネなどについての広報や、ソーラーミニカー・燃料電池ミニカーの工作、エコバッグづくりの体験など、全16団体により、約16の「体験と学び」プログラムが行われ、約1,000人の方にご来場いただきました。</p> 
10月	<p>将来世代応援県民会議佐久地域会議が開催 【佐久地域振興局(総務管理課)】</p> <p>10月4日に佐久合同庁舎講堂で長野県将来世代応援県民会議の「佐久地域会議」が開催されました。</p> <p>今回の会議では、3月に県が発表した「子どもと子育て家庭の生活実態調査」の結果から、佐久地域の子どもや子育て家庭の実情を読み解き、子どもや子育て家庭の課題を掘り下げました。</p> <p>佐久地域会議では、今後、地域の課題に対応し、地域に根差した取組を推進していくこととしています。</p> 
10月	<p>望月高等学校の廃止を決定 【教育委員会高校教育課】</p> <p>望月高等学校は、第1期長野県高等学校再編計画の再編対象校として今後のあり方を検討し、2021年3月31日をもって廃止することが決定しました。</p> <p>今後は同校の施設を活用し、2020年度に長野西高等学校通信制サテライト校を設置する方向で、新しい形の高校教育の学びの場となるよう、地域や学校関係者とともに検討を進めます。</p> 

月	内 容
11月	<p>「佐久鯉」おいしい信州ふーどWEEKを実施 【佐久地域振興局(農政課)】</p> <p>平成30年11月17日から12月16日まで、佐久地域のおいしい信州ふーどWEEK「佐久鯉」を実施しました。「佐久鯉」は古くから養殖され、佐久地域で食べられてきた伝統食です。今回、「熟成」技術を使った刺身などを幅広い年代に食べてもらえるよう、佐久市・軽井沢町で「佐久鯉」の定番料理から熟成鯉の料理まで、12店舗のお店でWEEKを行いました。</p> <p>「熟成」技術とは、水産試験場佐久支場が鯉の新たな調理法として開発し、調理師会佐久平支部が会員に普及しているもので、鯉を「熟成」すると匂いも無く、しっとり柔らかい食感で、脂がのって甘みのある鯉になり、とてもおいしいです。</p> 
11月	<p>「五郎兵衛用水」が世界かんがい施設遺産に登録 【佐久地域振興局(農地整備課)】</p> <p>佐久市浅科地域の「五郎兵衛用水」に対する、国際かんがい排水委員会(ICID)日本国内委員会による世界かんがい施設遺産の登録証・記念楯の伝達式が、奈良春日野国際フォーラムで行われました。</p> <p>登録証には「五郎兵衛用水は、17世紀に築造された地域用水路で、人々の生活を改善し、農業生産を安定させ、収入を倍増させた。測量・工学・革新的建設技術の優れた例として認め、世界かんがい施設遺産として登録する。」旨記載されています。</p> 
通年	<p>いづら佐久カラマツプロジェクトが進行中 【佐久地域振興局(林務課)】</p> <p>長野県総合5か年計画佐久地域計画に基づく、本プロジェクトが始動し、進行中です。</p> <p>佐久地域産カラマツ材の利用拡大の増進に向けて、7月、8月には、主伐及び再造林を推進するために研修会を実施し、11月には、上田地域などと協働により東京スカイツリーでカラマツ認証材のPRを行いました。</p> 